

令和３年度 長野市立若穂公民館運営審議会 次第

令和３年６月３０日(水)午後２時
長野市立若穂公民館 ２階 教室

１ 開 会

２ 委嘱書交付

３ 館長あいさつ

４ 自己紹介

５ 会長及び職務代理者選任

６ 協議事項

(１) 令和２年度若穂公民館事業報告について

(２) 令和３年度若穂公民館事業概要について

(３) その他

７ 閉 会

令和2度 若穂公民館 事業報告

※講師敬称は省略

1 成人学校講座

○主旨 市民の学習意欲に基づき、主として学芸、文化、教育に関する学習の場を提供し、心豊かな市民の育成を図る。

(1) 健康ヨガ

①講師 庄村 さやか(～R2.12.16)、宮下 知子 (R2.12.23～)

②実施状況

学期	期 間 (毎水曜)	回数	受講者数		出席率
			男	女	
1	6月3日～8月26日	12	0	12	93%
2	9月2日～12月9日	12	0	12	85%
3	12月16日～3月10日	12	0	12	90%

(2) はじめての俳句

①講師 岩井 かりん

②実施状況

回	期 間 (毎金曜)	回数	受講者数		出席率
			男	女	
1	6月26日～3月12日	12	1	11	91%

(3) 動かしやすいからだづくり (やさしいストレッチと体幹運動)

①講師 峯村 美智子

②実施状況 中止 (申込者10人未満のため)

学期	期 間 (毎火曜または水曜)	回数	受講者数		出席率
			男	女	
1	4月14日～9月16日	12	-	-	-
2	10月6日～3月18日	12	-	-	-

(4) 古文書解読入門

①講師 峯村 周治

②実施状況

学期	期 間 (毎水曜)	回数	受講者数		出席率
			男	女	
1	11月4日～3月3日	12	6	5	94%

2 公民館講座

(1) 若穂歴史講座（2回講座）

○ねらい

地元や近隣の歴史について、テーマに沿って学習する。2年度は「信越線の歴史」をテーマに学ぶ。

○講師 元八十二文化財団理事 宮下 健司

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
10月29日（木）	講演 「信越線 直江津～長野間の歴史」	12人	16人	28人
11月5日（木）	講演 「信越線 篠ノ井～横川間の歴史」	14人	12人	26人

コロナ感染予防のため5月から10月に変更
現地研修なしで3回から2回に変更して実施

(2) 人生教室（6回講座）

○ねらい

主として高齢者を対象。各分野より講師を招き学習し、潤いのある生活を創造していくための講座。

○開催状況

開催日	内容及び講師	参加人数		
		男	女	合計
7月7日（火）	「善光寺参り」と「地獄極楽の絵解き」 長野郷土史研究会副会長 長野の絵解きを広める会代表 小林 玲子	2人	33人	35人
8月20日（木）	文正・冷奴ふたり落語会 中野市落語研究会 畔上 忠治/知久 正文	1人	18人	19人
9月10日（木）	元気の出る話とサックス演奏 阿弥陀寺 住職 久遠 峯志	5人	19人	24人
10月20日（木）	温泉と健康の話 信濃毎日新聞特別編集委員 飯島 裕一	4人	13人	17人
11月11日（木）	戸隠の秘密 ～人と自然の物語～ 戸隠地質化石博物館館長補佐 田辺 智隆	2人	16人	18人
11月30日（月）	若穂の古寺社から学ぶ 長野市伝統環境保存審議会会長 相原 文哉	講師都合により中止		

(3) 朗読と民話めぐり（新）（3回講座）

○ねらい

口伝の文化である民話をまとめた「若穂のみんな」第1・2集が、若穂民話の会より発刊されたことに合わせて、会の皆さんとともに、多くの人に語り継ぐ仲間を作るとともに、民話を通して地域を知り、誇りに思うことで、地域をさらに活性化することを目的とする。

○講師 元 SBC アナウンサー 大久保知恵子
若穂民話の会

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
9月16日(水)	朗読の基本を学ぶ	2人	14人	16人
9月30日(水)	「若穂のみんな 第一集」を使い朗読の実践	2人	14人	16人
10月8日(木)	民話ゆかりの地を巡る	2人	15人	17人

(4) 楽楽クッキング教室

○ねらい

日本の伝統の料理や、地元の食材を使った料理を学ぶ。

○開催状況

開催日	内容及び講師	参加人数		
		男	女	合計
5月19日(火)	① おやき作り 若穂地区食生活改善推進協議会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
6月16日(火)	② そば打ち体験 長野市農業指導専門員 松尾 悦雄			
10月16日(金)	③ 笹ずし（北信地方の郷土料理） 食と農の輪づくりリーダー 西澤 清子			
1月28日(木)	④ やしろうま作り 地元講師 小森 綾子	0人	9人	9人

(5) 松代焼体験（新）

○ねらい

長野市伝統的工芸品の松代焼を身近に感じ、技法を学びながら物作りへの関心と手作りする楽しさを体験する。

○講師 松代陶苑 小澤 経弘

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
6 月 25 日(木)	伝統工芸の「松代焼」で、世界で一つの器を作成します	3 人	11 人	14 人

(6) ワクワクハンドメイド講座

○ねらい 手芸の楽しみの幅を広げ、地域での仲間づくりを図る。

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
6 月 19 日(金)	つまみ細工 ～布の切れ端から花のブローチを作成～ つまみ細工華華 代表 森 友美	0 人	9 人	9 人
9 月 15 日(火)	革小物作り ～豚革でペンケース、カードケースなどを作成～ 島津美和子 大豆島隣保館職員 工藤 奈津子	0 人	15 人	15 人
11 月 27 日(金)	羊毛フェルト ～来年の干支（丑）を作成～ アトリエはぐみー代表 西浜 三奈	0 人	13 人	13 人

(7) 絵手紙体験（新）

○ねらい

身近なものや季節感を題材にして気軽に楽しみながら自分の味を表現できるように、絵手紙のポイントを学ぶ体験教室を開催する。

○講師 日本郵便職員

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
7 月 2 日(木)	身近なものを題材にして、気軽に楽しみながら描きます	0 人	12 人	12 人

(8) 麦わらで作る蛍籠（新）

○ねらい

ホタルの生息する水辺の環境について学び、麦わらからインテリアになる蛍籠作りを通して身近な自然環境を考える

○講師 ホタルの会 長谷川 久翁ほか4名

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
7 月 29 日(水)	麦わらで素敵なインテリアにもなる蛍籠を編みます	1 人	19 人	20 人

(9) 終活講座 ～相続の仕組みを知ろう～

○ねらい

人生を振り返り、今後の目標や生き方を決める終活の流れ、必要性和、エンディングノートの役割、内容と、争いにならないための相続と遺言について学ぶ。

○講師 司法書士 新村 征之

特定非営利活動法人長野県相続成年後見協会 宮下 仁志・青山 史恵

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
8月5日(水)	相続の手続きの流れ、手続きのポイント	9人	9人	18人
8月27日(木)	エンディングノートを書いてみよう	7人	9人	16人

(10) 大人の社会見学

○ねらい

長野市内の公共施設・企業等を見学する。

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
9月3日(木)	ながの環境エネルギーセンター、SBC 信越放送、株式会社コヤマを見学	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

(11) コンサート in わかほ

○ねらい

身近な場所で音楽の生の演奏にふれ、心身のリフレッシュを図る。

○開催状況

開催日	内容及び講師	参加人数		
		男	女	合計
9月25日(金)	秋のコンサート ～中国の伝統的な擦弦楽器「二胡」～ 長野二胡楽友会 久保 里子	2人	36人	38人
12月22日(火)	クリスマスコンサート ヴァイオリン 宮下 朱里 ピアノ 小林 亜矢	1人	27人	28人

(12) 篆刻講座（新）

○ねらい

書・絵画などに押すオリジナル印鑑を作成する。篆刻に挑戦し、趣味の幅を広げる

○講師 更北公民館長 五明 良治

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
9 月 29 日 (火)	オリジナルのはんこを作ります	0 人	8 人	8 人

(13) ノルディックウォーキング講座

○ねらい

手軽に快適にフィットネス効果を得られる運動を体験することにより、日頃の運動不足を解消し健康増進を図るきっかけを提供する。

○講師 信州ノルディックウォーキング協会 会長 清水 元雄

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
10 月 27 日 (火)	歩き方の講習後、北国街道小玉古道を歩く	4 人	15 人	19 人

(14) 片付け講座

○ねらい

年末に向けて、片づけのリバウンドをしないための「分ける」片づけ術を学ぶ。
また、災害時に大切なものを守るための「分ける」について考える。

○講師 収納企画トトノエ堂

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
12 月 8 日 (火)	片付けと収納のコツを学びます	4 人	12 人	16 人

(15) 長生きするための呼吸体操

○講師 長野市民病院集中ケア認定看護師

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
11 月 18 日 (水)	なつかしい童謡を歌いながら腹式呼吸をマスターしましょう	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

(16) しめ縄飾りづくり

○ねらい

秋に収穫した身近にある地域の稲穂を材料に縁起物作りを通し、主食米を推進する。また農業への関心を高める。

○講師 元長野市農業専門指導員 宮澤 富子
食と農の輪づくりリーダー 西澤 清子

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
12月15日(火)	今秋収穫した蕪でお正月飾りを作ります	3人	20人	23人

(17) 薬膳の基本(新)

○ねらい

漢方生薬を用いない身近な食材を使った料理からバランスの良い食材の組み合わせや食べ方、日常の健康維持と病の予防に重要な食について学ぶ。

○講師 食養生・薬膳アドバイザー 小宮山 智子

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
2月9日(火)	日々の食卓で心がけることのできる「薬膳の基本」を学びます	0人	15人	15人

(18) 家庭菜園楽習教室（5回講座）

○ねらい

家庭での野菜作りのノウハウやコツを知って、安全で美味しい野菜を作れるよう支援すると共に、園芸を通じて心癒し自然とともに暮らす良さを感じられるようにと開講する。

○講師 長野市農業指導専門員 松尾 悦雄

○開催状況

開催日	内 容	参加人数		
		男	女	合計
1月18日(月)	家庭菜園の基礎知識	7人	8人	15人
2月1日(月)	葉菜類の作り方	6人	8人	14人
2月15日(月)	果菜類の作り方	8人	6人	14人
3月1日(月)	根菜類の作り方	7人	7人	14人
3月15日(月)	種まきと苗の育て方（実演）	7人	8人	15人

3 子ども事業

○ねらい

子どもの成長を地域で支援するため、地域の伝統行事・自然観察・スポーツ等を通じて世代間交流型・親子参加型の事業を行う。

○実施状況

「夏休みお楽しみ講座 電気自動車を作ろう」

（長野高専サイエンスツアー(出前講座)）

- <期 日> 8月12日(水)
- <内 容> 夏休み中の子供向け企画として、物を作る楽しさを知ることと、
普段できない他の学校や学年との交流を図ることを目的とする。
- <参加人員> 26人(小学生11人、保護者15人)
- <講 師> 長野高専電気電子工学科 渡辺 誠一 教授

「親子で木工教室」

- <期 日> 10月24日(土)
- <内 容> 地元の材木屋さんの指導により、親子で椅子を作って、木工の楽しさを知ることと、地域の人や、他の学校や学年の人との交流を図ることを目的とする。子で参加することで、家族のふれあいや温かみを再確認する。
- <参加人員> 17人(小学生10人、保護者7人)
- <講 師> 萬屋材木店

◇分館事業 ※分館事業は、各地区地公連・育成会等との共催

○綿内地区

① 「太郎山登山」

- <期 日> 5月24日(日)
- <内 容> 世代間交流型
蓮台寺→山新田→太郎山→こしき岩→蓮台寺のコースを登山。
- <参加人員> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② 綿内地域公民館対抗ペタンク大会

- <期 日> 9月6日(日)
- <内 容> 世代間交流型
成人と子どもで編成し、地域館対抗のペタンク大会。
- <参加人員> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 陶芸教室「松代焼きに挑戦しよう」

- <期 日> 11月29日(日)
- <内 容> 世代間交流型
地元の松代焼きの講師から、実技指導を受け作製した。
リモートにより開催
- <参加人員> 30人(内子ども17人)

○川田地区

① わくわく体験事業：郷土の歴史めぐり

「牛島地区の歴史と文化を訪ねて」

＜期 日＞ 10月18日（日）

＜内 容＞ 世代間交流型

地域の方の案内で身近にある史跡、旧跡を巡る。

＜参加人員＞ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② わくわく体験事業：「親子しめ縄作り教室」

＜期 日＞ 12月6日（日）

＜内 容＞ 親子参加型

育成会との共催で、大人とのふれあいを深めるため、親子でお正月のしめ縄作りを体験。

＜参加人員＞ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○保科地区

① 太郎山南ルートトレッキング

＜期 日＞ 5月24日（日）

＜内 容＞ 世代間交流型

太郎山トレッキングコース南ルートをトレッキング。

＜参加人員＞ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② 地域公民館対抗野球大会

＜期 日＞ 8月23日（日）

＜内 容＞ 世代間交流型

5地域公民館対抗の野球大会

＜参加人員＞ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 人権同和教育講座

若穂地区住民自治協議会人権同和教育促進委員会と連携し、11月～2月の間に各地域公民館単位(18地域館)で人権同和教育研修(地区懇談会)を実施を予定。

＜参加人員＞ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 成 人 式（地域公民館部会との共催事業）

○ ねらい

青年が新成人となったことを自覚し、責任を持って社会の一員として生きていく
前途を祝い励ます。

- ① 期 日 令和3年1月10日（日）＜「成人の日」の前日＞
- ② 場 所 若穂中学校体育館
- ③ 式 典 午前10時30分から
- ④ 対 象 者 166人（男87 女79） H12.4.2～H13.4.1生まれ
- ⑤ 内 容 ・式 典
・記念撮影
- ⑥ 参加希望者 男61人 女53人

新型コロナウイルス感染拡大により延期（12月24日付け延期通知送付）

令和3年8月14日（土） 開催予定

6 社会体育関係事業（地域公民館部会との共催事業）

(1) 若穂球技大会（ソフトバレーボール）

- ① 実施期日 6月28日（日）
- ② 場 所 若穂中学校体育館
- ③ 競技内容 ソフトバレーボール（男女別）
- ④ 参加者数 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 若穂市民運動会

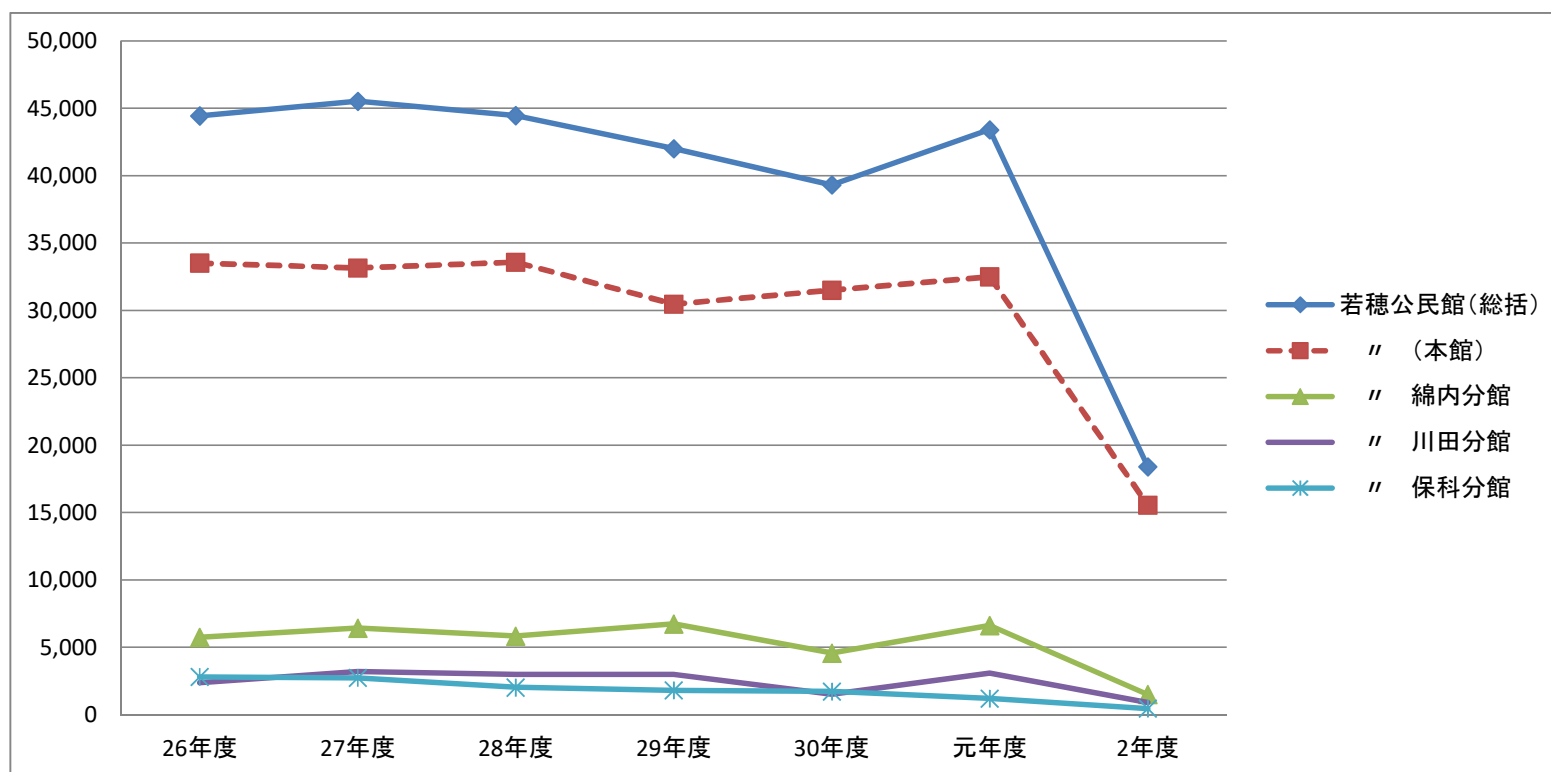
- ① 期 日 10月11日（月）
- ② 場 所 若穂中学校校庭
- ③ 競技内容
綱引き、ペアバランス（新）、親子玉リレー、風車ひろい、椅子取りゲーム、
大豊作、樽ころがし、みんなで走ろう 他 計11種目
- ③ 参加者数 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 冬季体育デー（ペタンク・スマイルボウリング・囲碁ボール）

- ① 期 日 令和3年2月7日（日）
- ② 場 所 若穂体育館（開閉会式及びペタンク競技）
若穂公民館ホール（囲碁ボール競技及び閉会式）
若穂支所会議室（スマイルボウリング競技及び閉会式）
- ③ 競技内容 ペタンク・スマイルボウリング・囲碁ボール
- ④ 参加者数 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

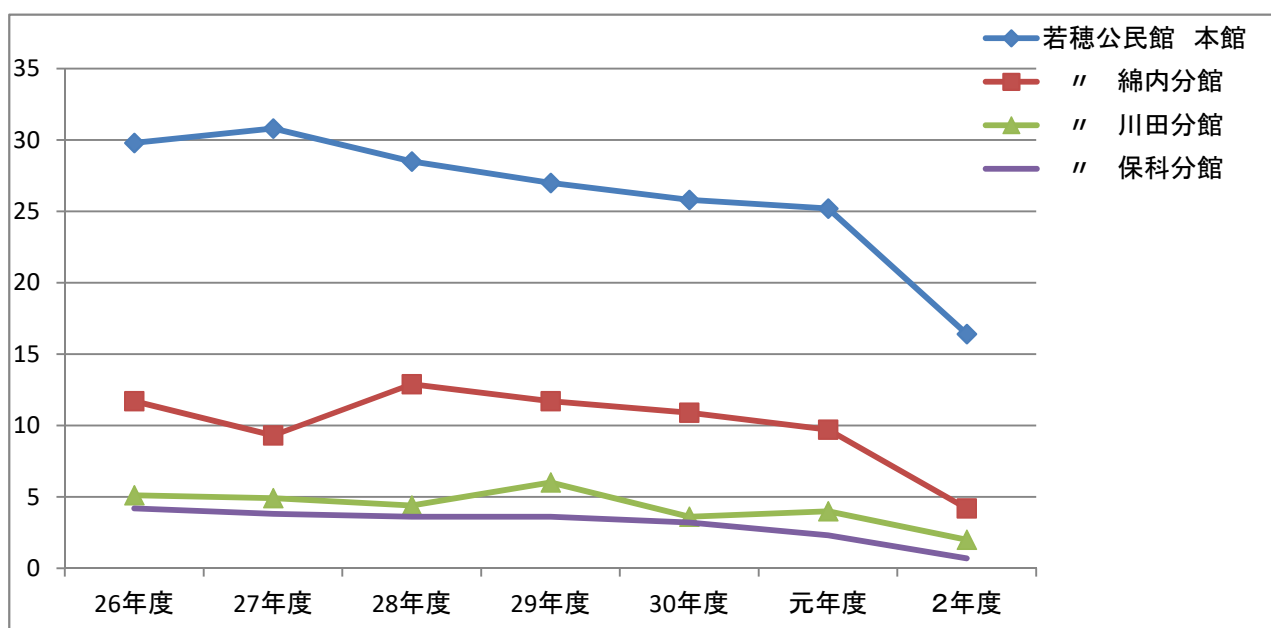
若穂公民館利用者数の推移(H26～R2)

施設名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度比 (人数)	前年度比 (割合%)
若穂公民館（総括）	44,448	45,525	44,454	42,004	39,309	43,406	18,400	△ 25,006	42.4%
〃（本館）	33,525	33,163	33,590	30,478	31,506	32,514	15,547	△ 16,967	47.8%
〃 綿内分館	5,737	6,425	5,842	6,738	4,574	6,626	1,498	△ 5,128	22.6%
〃 川田分館	2,379	3,202	2,994	2,978	1,512	3,071	901	△ 2,170	29.3%
〃 保科分館	2,807	2,735	2,028	1,810	1,717	1,195	454	△ 741	38.0%



若穂公民館利用率の推移(H26～R2)

施 設 名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
若穂公民館 本館	29.8	30.8	28.5	27.0	25.8	25.2	16.4
" 綿内分館	11.7	9.3	12.9	11.7	10.9	9.7	4.2
" 川田分館	5.1	4.9	4.4	6.0	3.6	4.0	2.0
" 保科分館	4.2	3.8	3.6	3.6	3.2	2.3	0.7



令和3年度 若穂公民館 事業運営・活動方針

はじめに

少子・高齢化や人口減少など、本市の生涯学習を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域・家庭の教育力の低下など新たな課題も生じています。

このような中で、これまでの生きがいや自己の可能性を広げる学びに加え、地域における人と人とのつながりを深め、学びの成果を人づくり、地域づくりに生かしていくことが求められています。

当公民館では、親子学級講座や地域の学び講座、フレイル予防講座等、地域課題の解決や公民館の利用者数の増加につながるような講座を企画し、効果的に実施してまいります。また、社会体育事業については、若穂地区住民自治協議会地域公民館部会と連携し、より多くの住民に参加してもらえるよう、取り組んでいきます。

なお、事業実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底し、より安全な公民館運営に努めてまいります。

令和3年度 事業方針・事業計画

1 成人学校講座

成人が余暇を利用して学習できる講座として通年または特定の学期に開講し、運営にあたっては受講生・講師・公民館が連携を取り、受講生による自主的な運営の中で、講師と受講生、また受講生同士の学習や交流が深められるように図っていきます。今年度は前年度から継続する「健康ヨガ」、「はじめての俳句」、「古文書解読入門」、「動かしやすいからだづくり」の4講座を実施してまいります。

なお、各講座とも2時間単位となっており、受講料は12回分で8,000円となっています。受講申し込み者が10人以上で開設します。

講座名	期間	回数	定員	時間	募集時期	講師
健康ヨガ	4月～3月	36回	12名	午前	4月	宮下 知子
はじめての俳句	4月～3月	12回	15名	午後	4月	岩井 かりん
古文書解読入門	11月～3月	12回	15名	午前	10月	峯村 周治
動かしやすいからだづくり	4月～3月	24回	12名	午後	4月	峯村 美智子

講師敬称略

2 各種学級講座

生涯学習の時代を迎え、社会教育の重要性はますます高まって来ており、市民の学習要求の内容も多様化・高度化の傾向にあります。当公民館では、昨年と同様に地域のつながりの強化や家庭・地域の教育力の向上を図るための講座を企画しました。また、市民の健康を守るフレイル予防講座や新規講座の充実に努めました。

講座の周知方法については、従来の紙ベースによる全戸回覧だけによらず、積極的にホームページなどを活用し、さまざまな年代や性別、また若穂地区以外の地域の方にも若穂公民館の講座を活用していただけるよう広報活動に力を入れていきます。

	事業名	内 容
次世代育成支援	〈乳児・幼児〉 にじいろ工場がやってきた（新）	紙芝居・パントマイム・人形劇などのパフォーマンスを楽しめます。
	〈小学生対象〉 夏休みお楽しみ講座	プログラミング教育の必須化に向けて、長野高専出前授業「子どもプログラミング教室」を実施します。
	〈親子学級〉 親子木工教室	地元講師の指導の下、簡単な木工家具を親子で作ります。自分で作る楽しさを知り、親子のコミュニケーションを図ります。
高齢者学習支援	人生教室（6回）	6月から11月にかけて6回開催します。 生活・文化・芸術・健康などさまざまなテーマに沿って開催し、高齢者自身が潤いのある生活を創造していくための一助とします。
	相続講座（2回）	司法書士を講師に、相続や遺言など高齢者に必要な法律や制度や、生前整理、エンディングノートの書き方について学びます。
文化芸術	若穂歴史講座（2回）	歴史的教養を深めることを目的として開催しており、今年度で15回目を迎えます。
	松代焼体験	伝統工芸の「松代焼」窯元で、世界で一つの器を作成します。
	絵手紙体験	身近なものを題材にして、気軽に楽しみながら描きます。
	わくわくハンドメイド講座	手作りの楽しさと仲間作り 第1回 コットンパールアクセサリー作り 第2回 革小物作り（2回） 第3回 羊毛フェルト体験

	コンサート in わかほ	1 秋のコンサート 中国の伝統的な楽器二胡の演奏 2 クリスマスコンサート ヴァイオリンとピアノ ヴォルーナ
	戦国の歴史講座（新）	戦国時代の社会実態を学ぶとともに、現代の課題について考えます。
	版画で年賀状作り（新）	版画でオリジナルの年賀状を刷る。
	しめ縄飾りづくり	今秋収穫した藁でお正月飾りを作ります。
体育	ノルディックウォーキング講座	近隣の野山に出掛けて、手軽に快適にフィットネス効果を得られる運動を体験します。
食育	パン作り教室（新）	若い世代に興味が高く家庭でできる本格的なパン作りのコツを学びながら若い世代に公民館を知ってもらい、参加者同士の交流と親睦を図る。
環境学習	カレンダーでミニバッグ作り（新）	カレンダーを折って作るミニバッグ作成し、環境にやさしい生活を考えます。
	家庭菜園楽習教室（全5回）	家庭菜園の基礎知識を学び、家庭で安全・安心な野菜作りができるよう支援します。
地域力向上	朗読と民話めぐり（全4回）	朗読の基本を楽しく学び、「若穂のみんな」を通して、若穂の歴史・風土を探ります。 3回目は、ゆかりの地を訪ねる現地学習
	民話の郷めぐり	「若穂のみんな」ゆかりの地を巡り若穂の歴史・風土を学びます

若穂子ども事業の実施（分館事業）

分館事業として各地区地公連や育成会等との共催により「若穂こども事業」を開催し、伝統行事や自然観察・スポーツ・歴史巡りなどを通じ世代間交流を図っていきます。

3 成人式

延期した、令和2年度成人式を8月14日（土）に開催します。感染防止ため、若穂中学校体育館において、対策を徹底した上で、式典のみとする予定です。

令和3年度の成人式は、1月に通常に開催可能な場合は、第一部を公民館主催の式典、第二部として住民自治協議会主催の祝賀会を行います。企画と運営は、若穂公民館と分館、住自協の地域公民館部会役員で行います。祝賀会では、立食パーティー形式で、新成人、中学校の恩師、地域の方々の語らいの場とします。

4 人権同和教育

住自協区長部会人権同和促進委員会の事業である「人権同和教育研修会（地区懇談会）」を、区長部会、人権同和教育促進委員会、地域公民館部会及び当公民館の連携の下に開催し、差別のない明るい地域づくりを目指します。

5 各種サークルへの支援

地域には公民館を生涯活動の場として活動しているサークルが数多くあります。住民の皆さんが自発的に学びあい、気軽に活動できるよう貸館業務を通じで各種サークルの支援を行っていきます。

また、各文化サークルの皆さんが年間を通して活動・学習した成果の発表の場である若穂文化振興会主催の「若穂文化祭」を支援します。

※今年度の若穂文化祭は11月1日(月)～3日(水)に開催予定です。

6 公民館報の発行

公民館報は住民がつくる地域新聞であることを基本とて、学習活動のための資料提供・公民館事業の周知住民の声などを掲載し、連帯と講習の場としての氏名を果たして行きます。

掲載する内容の充実を図り、特に館報第一面の「若穂文化地図」は、地域の歴史資料として今後も継続して取り組みます。

本年度も例年どおり、8月、11月、3月の年3回発行の予定です。

7 社会体育事業

地域住民が、互いに健康管理に努め、体を鍛えるため体育・スポーツに親しむ気風を培い、また体育事業の推進を通して親睦と連携の輪を広め、参加と奉仕への意識を高めるようにし、生きがいのある地域づくりを目指して取り組みます。

具体的には、住自協地域公民館部会が計画する次の事業が円滑に遂行できるよう、長野市スポーツ推進委員と連携し、支援していきます。

事業名	期 日	会 場	内 容
若穂球技大会	6月27日(日) 【中止】	若穂中学校体育館	地域館対抗 男女ソフトバレーボール
若穂市民運動会	10月10日(日)	若穂中学校校庭	地域館対抗 11種目
冬季体育デー	2月6日(日)	若穂公民館 若穂体育館 若穂支所	地域館対抗 ペタンク・スマイルボウリング・囲碁ボール

◎関係法令抜粋

○社会教育法

(目的)

第二十条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(公民館運営審議会)

第二十九条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第三十条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、当該市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の委嘱の基準、定数及び任期その他当該公民館運営審議会に関し必要な事項は、当該市町村の条例で定める。この場合において、委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

○長野市立公民館条例

(公民館運営審議会)

第13条 法第29条第1項の規定により、公民館（指定管理者が管理する公民館を除く。）に公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

2 審議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、法第30条第1項の規定により教育委員会が委嘱する。

3 審議会の名称及び委員の定数は、別表第4のとおりとする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第14条 審議会に、会長を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第15条 審議会は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

- 2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

若穂公民館運営審議会委員

(任期 R3. 6. 1～R5. 5. 31)

氏 名	地 区	備 考
小宮山 泰典	保科	保科児童センター館長
藤木 協子	川田	若穂地区食生活改善推進協議会
河西 哲也	川田	若穂中学校校長
元田 静子	川田	若穂地区更生保護女性会
玉井 英子	保科	元若穂地区住民自治協議会副会長
竹内 敏夫	保科	元若穂公民館保科分館長
佐久間 茂	綿内	学識経験者
北原 昇	綿内	公民館利用団体
峯村 美智子	綿内	スポーツ推進委員